

授業科目名 <英訳>	東洋史学(特殊講義) Oriental History (Special Lectures)				担当者所属・ 職名・氏名	国際高等教育院 教授 岩井 茂樹					
配当 学年	全回生	単位数	2	開講年度・ 開講期	2015・ 後期	曜時限	水1	授業 形態	特殊講義	使用 言語	日本語
題目	中国档案・文書学導論										
【授業の概要・目的】											
近年，中国・台湾では文書資料の収集と整理がおこなわれている。1950年代に収集がはじまった徽州地方の文書についても，これまで知られていなかった資料群が発掘されているし，契約文書を中心とする民間文書が発見され，資料集として出版されるようになった。この講義では徽州文書や台湾の文書などを取り上げて，その概要を紹介するとともに，その解読や利用について講述する。											
【到達目標】											
文書資料の類別について基本的な知識をもつとともに，草書体や略字を含む文書の積読を体得することを目標とする。											
【授業計画と内容】											
1.中国史研究における文書資料の利用とそのおもな成果について概述する。（第1週） 2.徽州文書の収蔵と整理の状況を紹介する。（第2週） 3.土地売買，租佃，出典，財産分割（相続）などの契約文書の実例を提示して解説を加える。（第3～第7週） 4.草書体や略字をふくむ文書の積読の方法を学ぶ。（第8～第14週）											
【履修要件】											
本特殊講義では史料文献の講読を伴う予定。その際には現代漢語による講読がもとめられる。											
【成績評価の方法・観点及び達成度】											
学期末のレポート試験によって成績を評価する。											
【教科書】											
授業中に指示する 教材は当方で用意し配布する。											
【参考書等】											
（参考書） 授業中に紹介する											
【授業外学習（予習・復習）等】											
配布した資料にあらかじめ目を通し，積読できない箇所など問題点を把握しておき，講義のなかでその問題が解決されなければ質問をすること。											
（その他（オフィスアワー等））											
オフィスアワー実施の有無は、KULASISで確認してください。											